

**2024年度（総合型選抜）AO選抜入学試験**  
**文学部 国際コミュニケーション学域「人文学プロポーズ方式」**

---

**1. 実施状況**

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
国際コミュニケーション学域	1	1	1

**2. 第一次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>**

(1) 評価ポイント

提出された各書類において、これまでの学びや経験、また、本学域で学ぶ意義と入学後に探究したいテーマについて、具体的かつ論理的にまとめられているかどうかを評価しました。また、本学域のホームページに目を通すなどの準備をしたうえで、志願者の目標が本学域でこそ達成しうるものであることが説得的に述べられているかどうかについても着目しています。

(2) 解答状況

まず、提出されたすべての書類について、期待される水準を満たしていました。また、本学域で提供する学びと入学後に探求したいテーマに関しても、内容が合致しているという評価をしています。また、高校での学びや経験において、国際交流やボランティア活動などにも積極的に関わるなどといった、幅広い活動も評価の対象としました。一方、志願者の最終目標と学問的な探究心とが自分の言葉で具体的に関連づけられているとより望ましいという評価をしています。

**3. 第二次選考**

(1) 評価ポイント

プレゼンテーションでは、入学後に探求したいテーマ・学習計画が明確かつ適切な形で資料にまとめられているか、内容を自身がしっかりと理解した上でアウトプットできているかどうかについて評価しました。一方、質疑応答と面接では質問に対する適切な回答ができているかについて注目しました。

(2) 解答状況

プレゼンテーションは、テーマ設定や資料の準備に時間をかけていることが伝わる内容でした。探究したいテーマや学習計画についても明示されており、資料の内容も理解した上で発表をしていることが分かりました。質疑応答や面接でも、いくつかの点でやや具体性に欠けるという印象を受けたものの、ほとんどの場合において、こちらの質問の意図を理解し、適切な回答ができていました。

(3) 試験（プレゼンテーション・面接）内容

志願者が作成した資料に基づくプレゼンテーションを行い、その内容に関する質疑応答と出願書類に基づく面接という内容です。

(4) 出題（プレゼンテーション・面接）の意図

本学域で探求したいテーマについて、自身の興味関心を出発点として本学域で提供する学びと上手く結びつけられているか、そしてその内容を論理的かつ明確に示すことができているかに注目しています。また、学問に対する積極性や真摯さ、大学生活と卒業後の進路に対する具体的なビジョンがあるかどうか、さらにそれらを自分の言葉で表現できているかを精査しました。

(5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

国際コミュニケーション学域の英語圏文化専攻、国際英語専攻の両専攻で学べる内容と、自身が興味関心をもっているテーマとがどのようにリンクするのかについて意識的に考えを巡らせてもらえると、本学で学ぶ意義や卒業後のビジョンがより鮮明に浮かぶかと思います。

以上